

# 大学院進学を目指す人は、冬休みに何をしておくべきか？

## ①日本語の応用力をつける。

大学院に進学するためには、話す力と書く力が必要だ。特に、話す力がないと、大学院の先生と面会したときに、質問に答えたり、研究内容について説明したりすることができない。

学外で日本人と話す機会があまりないという人も、常に（24時間！）日本語で考えるよう心掛ければ、応用力の向上が期待できる。日本語のテレビドラマなどを見ながら、台詞をそのまま繰り返したりすれば、日本語の言葉がスムーズに口から出てくるようになるだろう。

## ②TOEFL、あるいは TOEIC の勉強をする。

ほとんどの国公立の大学院では、出願の際に、過去2年以内の TOEFL あるいは TOEIC の成績が必要である。たとえば、京都大学大学院経済学研究科の場合、TOEFL の成績が必要だ。出願は7月中旬だから、遅くとも5月までには受験しておかなければならない。

試験の申し込みについては、TOEFL、TOEIC の HP を参照のこと。

## ③大学院で取り組むテーマを決める。

大学院への進学に際して、最も重視されるのは、専門に関する知識やスキルと研究計画である。まず、研究テーマを決めよう。テーマが決められない人は、志望する大学院の HP を見てみよう。研究室の HP をみれば、そこでどんな研究が行われているか、今までの修士論文のテーマにどのようなものがあるかなどがわかる。

テーマが決まったら、先生を探そう。そして、その先生の書いた論文を読んで、自分の研究計画の参考にしよう。

論文を探すには、以下のサイトが便利である。

◆NII(国立情報学研究所)論文情報ナビゲータ (サイニィ) <http://ci.nii.ac.jp>

◆Google Scholar <http://scholar.google.co.jp/>

以上、時間を有効に使って、有意義な冬休みを過ごしてほしい。

2015年12月14日

院進学クラス担当一同

以大学院升学为目标的同学们，在寒假应该如何准备呢？

### ① 提高日语应用能力

日语会话和写作能力是大学院升学所必需的。特别是若没有掌握一定的日语会话能力，那么在与大学院的教授进行面谈时，就无法回答教授提出的各种问题，同时也不能很好的对研究内容进行说明。

在课堂之外没有机会与日本人交流的同学，若能保持经常（24小时！）用日语说话的方式进行思考，那日语应用能力也将会得到很大的提高。在观看日语的电视节目，电视连续剧的时候，可以反复跟读里面的台词，相信通过这样的训练，日语终有一日可以达到脱口而出的水平。

### ② 学习托福或者托业

大多数的国公立大学，在出愿的时候都要求提交2年之内的托福或者托业成绩。例如，京都大学大学院经济学研究科，需要提交托福的成绩。大部分学校的报考申请时间在7月中旬左右，因此建议于5月前报名参加托福或托业考试。

关于上述考试的报名，请详见其官方网站。

### ③ 确定大学院研究课题

申请报考大学院的时候，最被看重的是专业知识、技巧以及研究计划书。因此，首先，一定要确定自己的研究课题。还没有明确研究课题的同学，可以先查阅想要报考的大学的官网。通过浏览相关研究室的主页，可以了解到那里是做哪方面的研究，到目前都有过哪些修士论文课题等等的信息。

研究课题确定以后，下一步就是寻找相关的教授。通过阅读教授纂写的论文，来完成自己的研究计划书的写作。

搜索教授纂写的论文，可以参考以下的网站：

◆NII(国立情報学研究所)論文情報ナビゲータ（サイニイ） <http://ci.nii.ac.jp>

◆Google Scholar <http://scholar.google.co.jp/>

最后，希望各位同学可以合理有效的安排时间，度过一个有意义的寒假。

2015年12月14日

大学院升学班担当老师全体